

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 23 日 (2009.7.23)

【公開番号】特開 2008-40950 (P2008-40950A)
 【公開日】平成 20 年 2 月 21 日 (2008.2.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-007
 【出願番号】特願 2006-216827 (P2006-216827)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 19/077 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 K 19/00 K

G 0 6 K 19/00 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 6 月 4 日 (2009.6.4)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

曲げ戻し自在のベースと、
 前記ベース上に配線された通信用のアンテナと、
 前記アンテナに電氣的に接続され、該アンテナを介して無線通信を行う回路チップと、
 前記回路チップと前記アンテナの配線の一部とを、覆うチップ補強体であって、
 前記チップ補強体の縁には、曲線部からなる複数の凸部と、該複数の凸部の間に位置し、
 前記アンテナの配線と交わる凹部が形成され、
 前記アンテナは前記チップ補強体の凹部を横切って前記回路チップと接続されることを
 特徴とする R F I D タグ。

【請求項 2】

前記ベースが所定方向に長尺のものであり、
 前記アンテナが、前記所定方向に沿って前記凹部と交わるものであることを特徴とする
 請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 3】

前記アンテナが、互いに配線の太さが異なる 2 種類のアンテナ部分を有するものであり、

前記チップ補強体は、前記凸部で前記 2 種類のアンテナ部分のうち配線の太さが相対的に太いアンテナ部分の配線と交わり、前記凹部で該 2 種類のアンテナ部分のうち配線の太さが相対的に細いアンテナ部分の配線と交わったものであることを特徴とする請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 4】

前記チップ補強体に対し前記ベースを挟んで位置する裏側補強体をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 5】

前記凹部は、前記チップ補強体における対向する 2 辺にのみ設けられることを特徴とする請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 6】

前記アンテナは複数であり、前記凹部には前記複数のアンテナの配線と交わることを特徴とする請求項 1 記載の R F I D タグ。